

シングル女性とマンションライフ

野尻美奈江 (のじり・みなえ)

ピュアスタイルデザインオフィス主宰。2級建築士、マンションリフォームマネジャー。女性の視点からの住まい提案で活躍中。働く女性・シングル女性向けのマンションリフォームサイト (<http://www.woman-reform.jp/>) も運営している。



最近、分譲マンションを購入するシングル女性が増えているようです。「仕事をもち、住まいに対しても自分の意見をしっかり持っている人が多いですね」と話すのは、女性の視点に立った住まいの設計・リフォームを手がけているピュアスタイルデザインオフィスの野尻美奈江さん。女性のマンション選びのポイントは?—アドバイスしてもらいました。

ライフスタイル を考えて

マンション購入を機会に、まずは自分のライフスタイルをしっかりと再確認しましょう。たとえば、分譲マンションを購入する女性の多くは仕事を持っていて、職場への通勤に便利な場所なら心身ともに楽ですし、自由に使える時間も増えるというメリットが生まれやすくなります。

でも逆に、仕事が忙しいからこそ、週末はゆっくり過ごしたい—という人にとっては、別の選択肢も考えられます。

こう考えると、大まかにですが地域は絞られます。次はその中で、候補物件を探しましょう。いくつか決まったら、交通アクセスや周辺環境などを実際に現地で確認してください。

夜道の照明はどうか、夜遅くまで営業しているスーパーマーケットは近くにあり、など女性にとって重要なポイントです。平日と休日、それぞれの日中と夜間など、いろいろな状況を考慮して、何度でも足を運ぶことをお勧めします。

物件選びの際には、専有面積の広さもポイントです。一般的に、70平方メートルを超えるような広さのものはファミリータイプです。仕事から帰った後のプライベートタイムや休日や静かに過ごしたい……隣近所がファミリーだと思えるようにはいかないケースも考えられます。

逆に、離婚して子どもを育てているような女性には、周囲にも子どもがいる環境の方がいいですし、その場合は、学校や病院が近くにあるかどうか、チェックしておくといいたいです。

「収納力」は 要チェック

最近、住まいに対して自分なりの意見をしっかりと持っている女性が増えてきました。その住まいへの「こだわり」の中で、最も強く感じるのは、「収納」に対するものですね。たとえば、玄関の下足箱。ヒールの高い靴もあればサンダルもあるし、ブーツだってある……多くの女性が、収納

そのマンションの「収納力」はいかほどのものか、これは大きなチェックポイントです。

また、手持ちの家具が使えるかどうかという、部屋の「使い勝手」も考えて。最近女性でも、ダブルベッドで広々と眠る、という人が多いたのですが、いざ引越しの段になって、ベッドが入らない、入っても部屋が使い物にならない、というケースが実際にあります。

ポイントは「自分仕様」

スペースが少ないと感じているのではないのでしょうか。靴に限らず、服やカバン、あるいは化粧品や収納場所に困っている人も多いでしょう。もちろん、モノを持ち過ぎという意見もあります。しかし、生活の様々なシーンに応じて、服装などに気を使わねばならないこともまた、女性にとっては

今とだけだけのモノがあつて、新居にどれだけのモノを持っていくか。現状把握は、これからの生活イメージを考えると、中古物件なら、思い切ってリフォームするのも一つの手段です。少しでも「自分仕様」に近い物件を探します。それがポイントだと思えます。